



父親にあこがれて入った電気の世界。電気の専門家を目指し(株)平和電興に入社した平貞範人さんは、管理の仕事を行っている。工務は直接お客様と接するため、早い段階でお客様の意図を知ることが大事。それに気づいてから、受け身姿勢から能動的に行動するよう意識が変わった。会社の10年先を考えたい、と話す平貞さんの思いを伺う。

●この職業を選んだきっかけ

電気工事をしている、作業着姿の父に憧れたのがきっかけです。父と一緒に仕事をするのが目標でしたので、専門学校卒業後は、他の会社で5年くらい経験を積み地元に戻る予定でした。

ちょうど5年経過したときに、工務の業務が未経験だったのに気づきます。これでは実家に戻っても、できることが限られている。そう思い工務部から工務部へ異動願いを出しました。

同じ時期に、父は仕事をリタイアしましたので、今は私の成長を見守ってくれています。

●職場の魅力や責務

電気工事は建物の基礎ができる前から、仕上がった後も施工に携わります。だからこそ、工事を効率的に進めていく、管理能力が大事。発注先との打ち合わせは当然ですが、技術者や協力会社との確認や伝達など、コミュニケーション能力も試されます。

●仕事のこだわり、ポリシー

積極的な行動を意識しています。お客様が「平和電興と一緒に仕事ができてよかった」、そう思ってもらうには、額面通りの仕事ではいけません。受け身にならないよう、気づいたことをお伝えしています。

たとえば、コンセントの高さや家具など、わかっている範囲でサイズを伺ってみる。その際に、電源の数、位置の変更など希望はないか確認するなど。工事に関して具体的な意見を聞くことで、こちらからより良い提案ができます。

プロの目線で話をすることで、お客様は安心感を抱いてくれます。それが信頼関係を築く第一歩。工事でも管理も経験しているからこそ、依頼主と施工する側の気持ちを汲み取り、工事の説明ができます。

担い手シリーズ 12

自分を成長させる 難しい仕事には 率先して着手

平貞 範人 入社14年目(工務部 課長代理)
株式会社 平和電興



●仕事上で印象的なエピソード

数年前に受注した公共工事の仕事が忘れられません。行程管理、品質管理、安全管理の提出書類や打合せ、検査も多く、民間工事との違いを知ることができました。

上司や先輩、他業種の協力会社の方々に教えてもらいながら、竣工を迎えたときは感動もひとしおでした。成績評定も90点になり、会社にも大きく貢献できたと思っています。

●今後の目標

自分が中堅世代になったので、10年後の会社を意識し始めました。今、私が行動に移せることは次世代のための環境作りや広報活動です。

内向けには、ペーパーレス化や提出書類の一元化など、効率アップを提案できます。外向け活動では、会社説明会などの他に、現場見学などそのひとつ。以前高校生に向けて開催した、インフラツアーは好評でした。職人さんが仕事に向かうときのあいさつや、業務内容の説明など、身近にありすぎて意識していない電気、その特徴や役割など興味深かったようです。

チャレンジすることが好きなので、資格取得を考えています。管理の仕事に直接関与しませんが、会社にとっても有益な資格です。合格目指して頑張りたいと思います。



平貞範人(ひらさだのりと)
福岡県飯塚市出身。九州電気専門学校入学・卒業。平成18年4月(株)平和電興入社。

会社情報
810-0022 福岡市中央区薬院 1-14-8
TEL:092-771-6161/FAX:092-752-3434

<http://www.heiwadenko.co.jp>